

岐阜県／木曽三川公園センター水と緑の館



外観イメージパース

所在地	岐阜県海津市海津町油島地先
建物データ	構造 鉄骨造＋木造 階数 平家建 敷地面積 116,374.23㎡ 建築面積 1,304.10㎡(水と緑の館 994.40㎡、屋外スペース 298.11㎡、渡り廊下A 11.59㎡) 延べ面積 1,309.76㎡(水と緑の館 931.19㎡、屋外スペース 366.98㎡、渡り廊下A 11.59㎡)
主要用途	教育学習施設
完成予定年月	令和9年11月
設計概要	国営木曽三川公園センターは中央水郷地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人が集い交流する木曽三川公園の総合拠点として位置づけられており、水と緑の館はその中心施設です。 既存施設は昭和62年に建築されましたが、軟弱地盤の不同沈下によりひび割れ等の損傷が激しいことや、非構造部分・建築設備の老朽化が著しいことから改修工事ではなく軟弱地盤に対応した手法にて現地建て替えを行うこととなりました。 新施設においては平屋で計画し、建物内のレベル差をなくします。また、施設内のトイレもより多くの人が使いやすいと感じるユニバーサルデザイン化を推進しています。展示室、多目的室はプログラムのリニューアルに対応できる柔軟性のある空間とし、回遊型の見学動線とすることで団体でもスムーズに見学できる構成としています。 エントランスは木の梁や木板張り仕上げとすることで木材利用を促進するとともに、日射負荷を抑制する奥行きのある庇を設けています。大きなガラス部分にはロールカーテンを設置し、建物南、北面にはガラス開口部を積極的に設けることで自然光、自然風を取り入れ、環境負荷低減に配慮した施設計画としています。